

議事録（要旨）

(1) 会議の名称	令和5年度 第2回越前市総合教育会議
(2) 開催日時	令和5年11月16日（木曜日）午前9時～10時
(3) 開催場所	生涯学習センターeホール
(4) 出席者氏名	市長 山田賢一 教育委員会 教育長 澤崎秀之、澤崎郁子教育長職務代理者、 岩坂昭宏委員、岡川聖代委員、伊東知之委員
(5) 欠席者氏名	なし
(6) 出席所管課職員職氏名	副市長 龍田光幸、副市長 小泉陽一、総合政策部長 奥山茂夫、総合政策部理事 横川裕康、企画財政課ウェルビーイング推進室長 兵信一郎、総合政策部政策推進幹 三井貫人、企画財政課副課長 佐竹正行、企画財政課参事 嶋川香住、企画財政課主査 高橋勲、デジタル政策課主幹 仲野弘修、産業政策課副課長 小林正典、教育委員会事務局長 見延政和、教育委員会事務局理事 橋本尚子、教育振興課長 山口あけみ、教育振興課学校教育指導室長 近江久幸、教育委員会政策推進幹 橋谷和成、教育振興課副課長 島田佐智代、教育振興課副課長 川崎仁美
(7) 会議議題	協議事項 住み続けたいふるさととキャリア教育について ～キャリア教育にどのような連続性をもたせるか～
(8) 傍聴者の数	1名
(9) 会議資料の名称	資料1 住み続けたいふるさととキャリア教育について
(10) 会議の内容の要旨	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>住み続けたいふるさととキャリア教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明 ・意見交換（主な内容） <p>キャリア教育には、「社会人としての自立を目指す」という側面と「ふるさとを知る、ふるさとに愛着を持つ」というふたつの側面がある。</p> <p>従来のキャリア教育は、将来どんな仕事に就きたい、どんなことがしたいという職業観の育成が主だったが、今のキャリア教育は、</p>

どんなふうに生きたいか、この社会をどのように生き抜いていくのかという視野に立っている。

いい学校に入っていい会社に入ることがいい人生だと思っていない、好きなことにとことん打ち込めることがカッコいいと思っている若者や「自分はこのまちで生きていくことに決めました」という若者が増えてきた印象を受ける。また、越前たけふ駅前に企業が研究開発棟を建てることになったことは、大学院生にとってもクリエイティブな仕事ができる場所がある、地元の戻るきっかけにつながるためとてもよかった。

中学生の職場体験は非常に成果があると言われていることから、中学生の年代で、自宅から通えるところにどんな会社があって、どんな仕事があるのかを知ってもらうことが大事。

ここに住み続ける、ここに帰ってくる、ここに居場所がある、市民の100年人生について「幸せを実感できるふるさと」を目指してやっていくので、今後も教育委員や保護者の協力をお願いしたい。